



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻窪 康裕 TEL 044-555-3800  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,695	36.7	880	—	881	—	561	—
2021年3月期第3四半期	9,284	△17.9	42	△85.3	△44	—	△109	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 603百万円 (329.6%) 2021年3月期第3四半期 140百万円 (21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	98.91	—
2021年3月期第3四半期	△19.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	21,207	9,863	45.6	1,704.55
2021年3月期	19,659	9,306	46.4	1,610.98

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,674百万円 2021年3月期 9,131百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	33.2	880	142.8	850	137.5	500	294.6	88.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	5,683,150株	2021年3月期	5,675,702株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	7,538株	2021年3月期	7,538株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,673,129株	2021年3月期3Q	5,659,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症、半導体等の部品供給不足、輸送費やエネルギー価格の高騰等の影響があったものの、総じて持ち直しの傾向が見られました。但し、一部業種は部品不足による自動車の減産等の影響を大きく受けました。

こうした状況下、当社グループにおいては主要顧客である半導体・液晶市場に加えて自動車、家電向け金型システム商品の需要が堅調に推移し、受注高は15,486百万円（前年同期比6,513百万円、72.6%増）と大幅な改善となりました。売上高は駆動システムの増産が寄与し、12,695百万円（前年同期比3,411百万円、36.7%増）と受注高の増加には及ばなかったものの増収結果となりました。

利益面に関しては、増収効果が寄与して、営業利益は880百万円（前年同期比838百万円増）、経常利益は881百万円（前年同期は経常損失44百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益561百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失109百万円）と大きく改善しました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○駆動システム

当セグメントでは、主要市場である半導体製造装置・各種分析関連装置分野向けを中心に高水準な受注が継続し、受注高は8,171百万円（前年同期比4,740百万円、138.1%増）と大幅に増加しました。受注高の増加には及ばないものの、生産体制増強に努めた結果売上高は6,257百万円（前年同期比2,313百万円、58.7%増）となり、営業利益は882百万円（前年同期は営業損失28百万円）と大幅な増収に伴い利益改善となりました。

#### ○金型システム

当セグメントでは、車載用モーター向け金型の受注増加と家電用モーターコア等の受注増加により、受注高は4,267百万円（前年同期比1,163百万円、37.5%増）と増加となりました。売上高は、新規大口取引先での量産開始の遅れと東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けたものの、結果として4,030百万円（前年同期比919百万円、29.6%増）、営業利益は201百万円（前年同期比54百万円、37.1%増）と増収増益となりました。

#### ○機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械等システム商品の緩やかな回復基調により、受注においては前年同期を上回ったものの、部品納期の長期化等の影響を受け売上は微増となりました。また収益面では、人件費をはじめとした固定費の増加及び連結子会社の業績不振の影響を受け厳しい状況が続きました。その結果、受注高は3,054百万円（前年同期比611百万円、25.0%増）、売上高は2,416百万円（前年同期比180百万円、8.1%増）、営業損失183百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は21,207百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,547百万円増加しました。これは主に現金及び預金、棚卸資産の増加等により流動資産が1,470百万円、有形固定資産の増加により固定資産が77百万円増加したことによるものです。

負債合計額は11,344百万円となり、前連結会計年度末と比較して991百万円増加しました。これは主に仕入債務等の増加により流動負債が730百万円、その他に含まれるリース債務等の増加により固定負債が261百万円増加したことによるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は9,863百万円となり、前連結会計年度末と比較して556百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加等により株主資本合計が515百万円、為替換算調整勘定等の増加によりその他の包括利益累計額が27百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、2021年11月11日に公表した数値を上回るペースで好調に推移しております。しかしながら各種電子部品の不足や物流の混乱等により今期中の出荷・売上計上が予定どおり進まないリスクがあること、更に新型コロナウイルス感染症の影響等により一部海外子会社の業績見通しが不透明であることから、2022年3月期の連結業績予想を現時点で正確に見積もることが困難です。そのため2021年11月11日に公表した数値を変更していません。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,157,480	2,740,929
受取手形及び売掛金	3,583,944	3,274,317
電子記録債権	38,771	117,026
商品及び製品	1,032,891	1,298,995
仕掛品	1,670,848	2,068,402
原材料及び貯蔵品	693,845	974,154
その他	290,418	462,193
貸倒引当金	△5,714	△3,235
流動資産合計	9,462,486	10,932,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,437,212	2,396,258
土地	1,869,755	1,869,755
その他(純額)	2,561,819	2,774,176
有形固定資産合計	6,868,787	7,040,190
無形固定資産		
のれん	801,248	746,445
その他	173,574	166,386
無形固定資産合計	974,823	912,832
投資その他の資産		
投資有価証券	1,824,434	1,818,171
その他	530,173	504,703
貸倒引当金	△1,462	△1,467
投資その他の資産合計	2,353,146	2,321,406
固定資産合計	10,196,758	10,274,429
資産合計	19,659,244	21,207,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,001,550	1,368,779
電子記録債務	1,480,456	2,516,351
短期借入金	2,149,756	1,060,024
未払法人税等	91,789	237,578
賞与引当金	177,278	131,898
受注損失引当金	10,550	6,301
その他	868,041	1,188,837
流動負債合計	5,779,424	6,509,769
固定負債		
長期借入金	2,192,215	2,092,481
役員退職慰労引当金	20,271	23,116
環境対策引当金	75,946	—
資産除去債務	—	37,624
退職給付に係る負債	1,441,736	1,445,858
その他	842,892	1,235,209
固定負債合計	4,573,061	4,834,290
負債合計	10,352,485	11,344,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,996	1,911,680
資本剰余金	1,507,830	1,516,507
利益剰余金	3,788,129	4,286,452
自己株式	△8,936	△8,936
株主資本合計	7,190,019	7,705,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	766,638	758,695
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	301,494	336,464
退職給付に係る調整累計額	58,789	59,110
その他の包括利益累計額合計	1,941,324	1,968,671
非支配株主持分	175,415	188,780
純資産合計	9,306,758	9,863,154
負債純資産合計	19,659,244	21,207,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	9,284,066	12,695,556
売上原価	7,060,918	9,211,850
売上総利益	2,223,148	3,483,705
販売費及び一般管理費	2,180,448	2,602,896
営業利益	42,700	880,809
営業外収益		
受取配当金	13,251	22,760
持分法による投資利益	1,736	683
為替差益	—	25,956
設備賃貸料	29,361	29,590
スクラップ売却益	8,060	23,551
その他	32,653	30,211
営業外収益合計	85,062	132,753
営業外費用		
支払利息	38,287	43,365
売上割引	17,681	25,689
為替差損	38,174	—
シンジケートローン手数料	32,084	2,694
その他	46,439	60,671
営業外費用合計	172,667	132,420
経常利益又は経常損失(△)	△44,904	881,142
特別利益		
固定資産売却益	72	10
雇用調整助成金	239,105	23,573
特別利益合計	239,177	23,583
特別損失		
固定資産除却損	1,611	454
環境対策引当金繰入額	16,327	—
クレーム対策関連費用	4,332	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	258,959	40,573
特別損失合計	281,230	41,028
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,958	863,697
法人税、住民税及び事業税	39,769	275,941
法人税等調整額	△20,779	15,052
法人税等合計	18,990	290,993
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,948	572,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,715	11,525
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△109,663	561,178

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,948	572,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	246,401	△7,943
為替換算調整勘定	△2,004	38,068
退職給付に係る調整額	1,959	320
その他の包括利益合計	246,355	30,445
四半期包括利益	140,407	603,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,997	588,525
非支配株主に係る四半期包括利益	1,410	14,624



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。また、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果が当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,940,738	3,110,771	2,232,556	9,284,066	—	9,284,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,064	—	3,573	6,637	△6,637	—
計	3,943,803	3,110,771	2,236,129	9,290,704	△6,637	9,284,066
セグメント利益又は損失 (△)	△28,107	147,143	△59,909	59,126	△16,426	42,700

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△16,426千円は、セグメント間取引消去△1,238千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△15,187千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,252,375	4,030,119	2,413,061	12,695,556	—	12,695,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,957	—	3,133	8,090	△8,090	—
計	6,257,332	4,030,119	2,416,194	12,703,646	△8,090	12,695,556
セグメント利益又は損失 (△)	882,399	201,769	△183,785	900,383	△19,573	880,809

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△19,573千円は、セグメント間取引消去91千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△19,665千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。